

「主要施策の成果及び基金の運用状況説明書」について

本書は、地方自治法第 233 条第 5 項に基づく令和元年度の主要な施策の成果及び同法第 241 条第 5 項に基づく基金の運用状況を説明する書類です。

評価・検証シート【施策】

令和 元 年度

【所管部局】企画総務部

施策名	（計画の実現に向けて第3章） 効果的・効率的な行政運営を進めま	この施策の目的を記載しています。 大牟田市まちづくり総合プランから引用しています。
-----	------------------------------------	--

1. 計画(Plan)

意図（どういう状態になることを狙っているのか）	本市を取り巻く社会背景が絶えず変化する中、将来に向けたまちづくりを確実に推進していくため、限られた資源で最大の効果を生む、経営の視点に立った効果的で効率的な行政運営を進めます。
-------------------------	--

指標名		H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
まちづくり総合プラン 目標達成率	目標値 (%)	100	100	100	100	まちづくり総合プランに掲げる施策の成果指標の達成率を測定します。
	実績値 (%)	89.9	88.9			
	達成度 (%)	89.9	88.9			

施策の達成状況を数値等で測るため、指標を設定し、その目標値と実績値、達成度を年度別に記載しています。

2. 実行(Do) → 構成事業の実施による

3. 検証・評価と今後の方向性(Check & Action)

(1) 指標達成度に対する要因分析(①構成事業が与えた影響)	<ul style="list-style-type: none"> 行政評価やアクションプログラムのローリングなどにより、施策や事業の評価検証を行いながら、より効果的なものを見直し、改善を行うことで、まちづくり総合プランに掲げる全37施策において、おおむね目標を達成することができました。 行政資源が限られてくる中、R元年度は、本市を取り巻く環境等の変化を踏まえた人材育成基本方針を改訂するとともに、新たな定員管理計画である「職員配置適正化方針2020(R2~5年度)」を策定したところであり、今後、さらに効果的・効率的な行政運営を進めていきます。 業務最適化計画に基づき取り組んだ業務最適化推進事業においては、最終年度となったR元年度までに、実施：12方策、一部実施：10方策、実施見送りが10方策となりました。今後も継続して業務の見直しを行う必要があります。 長期的(2035年)視点をもった組織機構見直しの基本方針の取りまとめに向け、庁内ヒアリング等を重ねましたが、将来的な社会ニーズ等、様々な環境変化が予測される中で、長期的な見通しが難しく、基本方針の取りまとめは見送ることとしました。 	指標の動きに対する要因の分析や、事業実施により得られた成果を記載しています。
--------------------------------	--	--

(2) 今後の方向性((1)の要因分析を踏まえ、施策目的達成に向けた)	<ul style="list-style-type: none"> R2年度からは、第6次総合計画がスタートします。引き続き、施策を確実に推進していくため、施策及び事業の評価検証を行い、サイクルの推進による成果重視型の行政運営を進めます。 人口減少や少子高齢化が進む中、本市が行政運営に投入する行政資源は今後ますます限られてきます。簡素で効率的、且つ安定した行政運営を継続的に行っていくために、引き続き業務見直しを進めるとともに、計画的な職員配置や人材の育成、広域連携の推進など、効果的で効率的な行政運営に取り組んでいきます。 総合計画の推進や短・中期的な行政課題に対応するための組織機構の見直しについては、引き続き、検討し実施していきます。 	指標達成度に対する要因分析を踏まえ、次年度以降の方向性を記載しています。
-------------------------------------	---	--------------------------------------

(企画総務部長 岡田 和彦)

4. 施策推進の視点と各構成事業

No.	事業名	所管課	成果指標等			評価結果	
			指標名	単位	R 元目標 R 元実績	結果検証 ・分析	今後の 方向性
[視点1] 成果重視型の行政運営の推進							
1	総合計画		行政評価の実施	施策	37 37	順調	継続
2	まち・ひと・しごと創生総合戦略		総合戦略 KPI 達成率 (平均)	%	100 93.2	順調	継続
[視点2] 行政運営の基盤づくり							
3	【重点】 適正な公共調達推進事業	契約検査室	発注事務の改善数	件	3 2	やや遅れ	継続
4	【重点】 業務最適化推進事業	人事課	未実施の方策(16 方策)に係る検証	方策	5 6	順調	終了
5	民間活力等導入推進事業	総合政策課	指定管理者制度導入施設におけるモニタリング評価点(適切:4点)	点	平均4.0点以上 平均4.0点	順調	継続
6	【重点】 定員管理事業	人事課	職員数(R2.4.1)	人	812 786	順調	継続
7	人事・人材育成トータルシステム推進事業	人事課	職員のやる気・モチベーション向上度数(5点満点)	点	平均4.0点以上 3.41	順調	充実
8	【重点】 組織機構整備事業	総合政策課	段階的な組織機構の見直し	-	実施 未実施	遅れ	改善
9	労働安全衛生マネジメントシステム運用事業	職員厚生課	安全衛生活動評価値	値	98.7 98.9	順調	継続
10	心とからだの健康づくり推進事業	職員厚生課	職場環境改善のためのグループミーティング実施率	%	94.2 94.3	順調	継続
[視点3] 広域連携の推進							
11	定住自立圏構想推進事業	総合政策課	第2次共生ビジョンKPI 達成率(平均)	%	100 86.4	順調	継続

※「総合計画策定事業」は評価対象から除外しています。

事業の実施状況や達成度を総合的に判断し、以下の4段階から評価しています。
「大変順調」「順調」「やや遅れ」「遅れ」

次年度以降の事業の方向性を、以下の6つから示しています。
「継続」「改善」「充実」「縮小」「休廃止」「終了」

施策の目的を達成するために行う事務事業の一覧を掲載しています。このうち、各部署が重点として掲げた事務事業には【重点】を示しています。また、次ページ以降で各構成事業の実施状況等を記載しています。

6. 重点事業

事業名		適正な公共調達推進事業				
指標名		H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
発注事務の改善数	目標値(件)	3	3	3	3	計画期間に応じ、短期、中期、長期の発注事務の改善
	実績値(件)					
	達成度(%)	100				
事業の実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の品質確保の観点から、競争入札の最低制限価格及び低入札調査価格の算定基準を改正しました。 契約の適正化を図るため、改正民法等の施行に合わせ、公共工事標準請負契約約款を改正しました。 総合評価方式条件付き一般競争入札について、R元年度末で本格運用後5年を経過することから、評価基準等の見直しを検討した結果、最終的な整理が必要となっています。 法令等の改正や社会情勢の変化に合わせ、発注事務の点検・見直しが必要です。 						
決算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額	8,368 千円					
(次年度への繰越)	千円)					
課題						
<ul style="list-style-type: none"> 総合評価方式条件付き一般競争入札について、R元年度末で本格運用後5年を経過することから、評価基準等の見直しを検討した結果、最終的な整理が必要となっています。 法令等の改正や社会情勢の変化に合わせ、発注事務の点検・見直しが必要です。 						
今後の方向性(具体策)						
<ul style="list-style-type: none"> 人材・資器材の効率的な活用や担い手の処遇改善に資する観点から、継続的に発注工事の施工時期の平準化に資するよう取組みを実施します。 入札・契約を通じた合理的な価格による契約や不良不適格の排除など、継続的に発注事務の改善に取り組みます。 						

事業の達成状況を数値等で測るため、指標を設定し、その目標値と実績値、達成度を年度別に記載しています。

当事業に要した費用を記載しています。ただし、人件費は含んでいません。

事業実施において生じた問題点や課題を記載しています。

次年度以降の方向性について、問題点及び課題を踏まえた具体的な改善策について記載しています。

